



村田教授ら先生方から講評を受ける作者の三年生と見学の東高校生

### 美術工芸学科油絵3年生

金沢学院大美術工芸学科三年生（油絵）の研究発表は八月六日から十一日まで、金沢市のギャラリー香林坊21で開かれ、自らの感性を研ぎ澄ました風景画などが展示されました。

特別授業 夏休みの六日には、初日の象を表現しました。

## 「広島」の心象描き、研究発表

ギャラリー香林坊21 作者10人が東高校生に語る

金沢学院大美術工芸学科三年生（油絵）の研究発表は八月六日から十一日まで、金沢市のギャラリー香林坊21で開かれ、自らの感性を研ぎ澄ました風景画などが展示されました。

### 文化財学科が公開講座



金沢学院大の公開講座「北陸道の歴史と風景」は八月六日、金沢市の県立美術館ホールで市民ら約二百人が参加して開かれ、美術文化学部文化財学科の教員が、北陸道の古代から現代までの歴史、役割を考古学や文献史学など

## 夏に学ぶ

### 学院大美術文化学部

「北陸道の歴史と風景」に200人

県立美術館ホール 大勢の市民ら熱心に

の立場から研究発表し意見交換を行いました。橋本澄夫、東四柳史明、高澤裕一、藤則雄の各教授が基調報告の講演を行い、清水宣義、馬場先恵子の二助教授が問題提起をしました。全体討論では石崎建治助教授がコーディネーターを務め、六人の先生方が意見交換を行いました。会場には熱心にメモを取る市民らが詰め掛け、歴史の各時代に道の役割が変化してきたとする意見に、耳を傾けていました。



JAPAN TENTS 世界留学生交流・いしかわ2003に参加した留学生の中から十五人が八月六日、金沢学院大で行ったのかなどの説明を受けました。村田省蔵教授らが研究テーマや作品の意図について

ジャパテン留学生 本学で篆刻体験

### 大学・短大生活を体験

オープンキャンパスに300人



金沢学院大・短大のオープンキャンパスは八月十一日行われ、約三百人の高校生が訪れ、体験授業の受講や学内施設見学をして、大学・短大生活を体験していただきました。写真。大学は文、経営情報、美術文化の三学部七学科、短大は二学科に分かれて実施しました。大学では「日本文学科で何を学ぶか」「ビジネスゲームに挑戦」

発行・入試広報部

「ウェブアニメーション講座」などの体験授業が行われ高校生は熱心に受講していました。短大では「異文化コミュニケーション」「芭蕉と金沢」「わかりやすい健康な食生活」「簡単なクッキー作り」などの体験授業を行い、参加した高校生の興味を誘っていました。

わかれた「職人大学校」に参加し、篆刻（てんこく）を体験しました。写真。美術工芸学科の平木孝志助教授の指導で、留学生

は、本学学生の手助けを受けながら篆刻に取り組み、「馬」「心」「山」「木」といった「変形」文字に挑戦していました。留学生は半紙に捺印した篆刻を平木助教授に「うまい、いいぞだね」とほめられると大喜びしていました。